



日章学園九州国際高等学校校長便り 長月
建学の精神：道義に徹し、実利を図り、勤労を愛す
学園スローガン：二倍の努力
学校教育目標：国際的視野と人間性豊かな心を持ち、
自ら学び考え、自己の課題を解決できる生徒を育成する。
令和7年(2025年)9月1日(月)校長 屋田伸仁



逃げる VS 挑む



8月は連日、猛暑、酷暑が続き、全国では観測史上最高の40度を超える都市も続出し、危険な暑さが続きました。一方、線状降水帯が発生し、大雨特別警報が発令され、鹿児島県、熊本県では浸水被害もありました。気温の変化や不安定な天候で、体調管理や生活リズムの維持管理が難しい夏休みでした。

さて、「兆し」(きざし)という字があります。この字は、カメの甲の割れ目の形を表す文字で、昔、カメの甲などを火で焼いて、その割れ具合から吉凶を予測したことに由来します。転じて、物事が起る前ぶれ、気配や雰囲気のことを表します。また、「逃」という字は「しんにょう」が使われています。「しんにょう」は走るという意味があり、良くない兆しに対して、勢いよく走って逃げるとなります。一方、「てへん」がつくと、兆しを手でつかむ、つまり、挑む、挑戦という字になります。兆し、逃、挑の漢字の成り立ちや関係性は興味深いものがあります。良い兆しを自ら引き寄せて、「二倍の努力」で挑戦し、自分の目標をぜひ達成したいものです。9月からは、「挑む」気持ちで学校生活を過ごしましょう。また、11月には創立30周年式典が開催されます。本校のこれまでの歴史の歩みに「感謝」し、未来に向かって新たな歴史を創る「挑戦」をみんなで始めましょう。

馬耳東風力

全国的にネットいじめが問題化し、本校でも未然防止のために、7月にえびの警察署の方を招いて「SNSの正しい使い方」についての講習会を行いました。いじめをやる人はなりすましや偽名を使えば、ばれないと思ってやるのかもしれません、トラブルになって、必ずばれます。ネットいじめはやめましょう。生徒達も警察署の指導員の話を真剣に聞いていました。

さて、馬に関して、四字熟語で「馬耳東風」というものがあります。この東風とは春風のことと、春風が吹くと、人は心地よいと思いますが、馬は何も感じません。意味は人の意見や批評を気にせず受け流すことです。ネガティブな意味で使われます。話をもどして、テレビである報道番組を見ていると、ネットやSNSではフェイクニュースや誹謗中傷の嵐が巻き起こったり、ある外国では子どもに悪影響を与えるということで、法律で使用禁止したりしていました。実のある批評や意見は聞くべきですが、誹謗中傷に一々対応してしていたら、疲弊してしまいます。「馬耳東風」という言葉は本来ネガティブな意味ですが、たまには聞く耳を持たない「馬耳東風力」を發揮するのも必要だと思います。



おかげさまで 創立30周年 since1995

NISSHOGAKUEN KYUSHU INTERNATIONAL HIGHSCHOOL

日章学園九州国際高等学校

